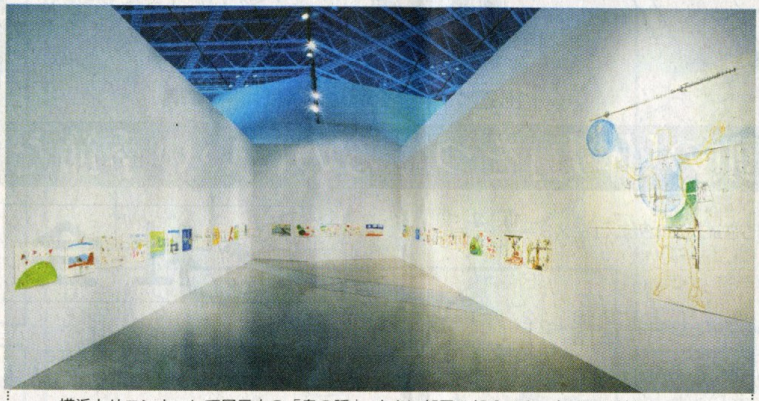
子どもたちの心も展示

「横浜トリエンナーレ2001」

三年に一度の国際現代美術展「横浜トリエンナーレ2001」が、神奈川県横浜市西区・中区のいくつかの会場で開かれています。えらばれた世界の美術作家約百人の作品の中に、小学生との合作があります。「泉の話」という展示です。神奈川県出身の作家、富田俊明さんが母校の相模原市大野台小学校をたずね、三年一組のお友だちと話をしながらつくりあげました。（佐々木道子）



横浜トリエンナーレで展示中の「泉の話」。大きい部屋の部分です。右はしが地図
＝横浜市西区のパシフィコ横浜で、木奥惠三さんうつす

神奈川・大野台小の三年生が先輩と共同作品

ふるさとの昔話聞き ひとり一枚好きな絵

「泉の話」の展示は、長くせまいろうかから始まります。つきあたりの壁に水彩画が一枚。砂漠の中に青い泉があり、ほとりに人影がしゃがんでいる絵です。

入場者はさらに大きな部屋に入り、三十点ほどの楽しい絵にかこまれます。三年一組と富田さんがいっしょにかいた大きな地図。そしてひとり一枚ずつかいたカメ、ヘビ、イチゴ、サッカー……。自分の心の中にある、大好きなものの絵です。これらが全体でひとつの作品の世界をつくっています。

富田さんは七月、三年一組の教室に来て、砂漠の泉の絵を見せました。展示の最初にある絵です。「この泉はぼくの心の中にあるんです。ぼくの友だちがそういって、この絵をかいてくれました」

そして、ふるさとの相模原にむかし、よく大水が出たことや、くぼ地が多く、それが巨人・でいらぼっちの足やおしりのあとだという伝説があることを、地図をかきながら話しました。富田さんが地域のお年よりや博物館の人から聞き集めた話です。

ふるさとの古いお話に出てくる水が自分の心の中によみがえって、それを友だちが見つけ、絵にかいてくれたのではないかと富田さんは感じています。不思議なお話に一組のみんなはびっくりです。

富田さんといっしょに地図をかく子どもたち＝相模原市大野台小で、多田あさみさんうつす

富田先輩は大親友

泉の絵にかかれた人影は「神様かもしれない」「富田先生かも」「水がない人にあげるのかな」と、みんないろいろ推理します。富田さんは「ひょっとしたら伝説の巨人かもしれない」と。

子どもたちは口ぐちに「ものすごく楽しかった」といいます。その後も富田さんが学校へ遊びに来たり、子どもたちが富田さんの家へ行ったり。「もう大親友。またいっしょに絵をかきたい。もっともっとすごい展覧会に出してほしいな」と岩崎美波さんは話します。

富田さんは、自分の考えやお年よりがしてくれた話を「同じ土地でこれから生きていく若い子たちに手わたそう」と学校へやってきました。一枚の絵から始まり、いろいろな人とつながってできた作品です。「子どもたちの直感や興味や、楽しむ力に助けられました」

みんなが最後に一枚ずつかいた大好きなものの絵を、富田さんは「トリエンナーレで一番自由ですてきな作品」だと思っています。

横浜トリエンナーレは十一月十一日まで。

よその学校の友だちともパソコン会話

東京・荒川区の7小学校

地域の人も協力 LANが開通

「地域のみなさん、ありがとうございました」。東京都荒川区の七つの小学校で保護者や地域の人たちが参加して、各教室のパソコンをむすぶ「LAN（地域情報通信網）」の配線工事を行いました。

LANは学校のあちこちにおいたパソコンから、インターネットなどを使えるようにする設備。ほかの小学校とも交信できます。

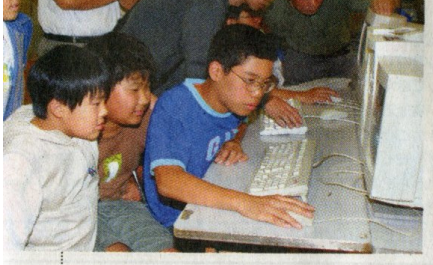
LANの工事を計画したのは東京青年会議所荒川区委員会。地域にある会社や住民から使わなくなったパソコンや、配線に使うケーブルを寄付してもらい、工事を希望する小学校をつのりました。

応募した七校がそれぞれ、ケーブルをしく工事の参加者を地域で募集、八、九月に工事を終えました。

第六日暮里小では十五人が参加して、中学年活動室と高学年活動室に合計七台のパソコンをおきました。パソコンは、これまでパソコンルームに行って使っていました。これからは、クラスのとなりの教室にあるので気軽に使えます。

九月二十九日の開通式では、四―六年生がさっそくパソコンに向かい、区内の六つの小学校と意見の交換ができる掲示板に書きこみをしました。

「よその小学校の子とパソコンを使って話ができます。休み時間がもっと楽しくなります」と、六年の女の子がうれしそうに話していました。（松村順子）



インターネットが開通したばかりのパソコンで、ほかの小学校と会話ができる掲示板に書きこみをする

朝日小学生新聞

朝小ホームページ
http://www.asagaku.com

〒104-8433　東京都中央区築地3-5-4
朝日学生新聞社
3545-5221（総務）
3545-5222（編集）
電話(03)3545-5223（広報）
3545-5227（販売）
3545-5225（広告）
大阪支社
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
朝日ビル 電話 (06)6202-3893
©朝日学生新聞社 2001
ご購読の申し込み
お近くのASA（朝日新聞販売所）、または
フリーダイヤル0120-415843
(10:00～17:00、日・祝日を除く)
フリーFAX 0120-415853
1か月1570円、1部70円（各税込み）

学校さんぽ

大阪市・西淀川区・柏里小③

歴史　一九二四年（大正十三年）十月十五日、第五尋常小学校として誕生しました。四一年、柏里国民学校に、そして四七年には現在の柏里小学校となりました。

校舎　九九年に創立七十五周年を記念して、校舎が建てかえられました。廊下のはばは三メートル四十センチと広めにとってあります。「元気にけがのない毎日をおくれるように」と教頭の堀部先生。窓も大きく、太陽の光が教室のおくまでさしこみます。みんなが毎日、一生懸命そうじをしているので、校内はいつもピカピカです。また校庭の下には雨水が自動的にたまるようになっていて、地震などの自然災害のときに利用されます。

●キリスト教に基づく人間教育 SEIG
学校説明会
10/10 水
時間▶午前10:00より
（中学受験生 保護者対象）
http://www.seig.ac.jp/
聖学院中学校
〒114-8502北区中里3-12-1 ☎03(3917)1121
交通/●JR山手線「駒込駅」東口下車徒歩5分　●地下鉄南北線「駒込駅」下車徒歩7分　●JR京浜東北線「上中里駅」下車徒歩10分

家庭教師プロ
入会金、授業料、交通費以外の費用は一切かかりません　全国家庭教師センター協議会会員